

	提 案 名	提 案 団 体 名	
		代表者氏名	所 属
12	宇都宮市中心部におけるLRTのルートと走行方式の比較検討	宇都宮共和大学里居ゼミ	
		小川 直樹	宇都宮共和大学 シティライフ学部
		指導教員 氏 名	里居 和義

1・提案の要旨

LRTをJR宇都宮駅を挟み、宇都宮外環状線（通称 宮環）を東西につなぐことで、中心市街地に人を集め、活性化を図る。

2・提案の目標

中心市街地の活性化と、活性化に資するLRTのルートと走行方式

3・現状の課題と分析

現状

宇都宮市ではモータリゼーションの進行により、「郊外化」が進んでいます。福田屋インターパーク店やベルモール等の大型ショッピングセンターが次々と郊外に建設されている一方、中心市街地では人が集まらず、止む無く閉店をせまられる店舗が増加し、中心市街地の衰退が問題となっています。

そしてJR宇都宮駅を挟んだ東西の大通りでは、駅を遠回りして越えなければならないため、アクセス性がとても悪いといえます。

課題

そのため、課題は2つあります。1つ目は、どのように中心市街地を活性化させるかという問題と、2つ目にJR宇都宮駅周辺のアクセス性を高めるにはどうしたらよいか、という問題です。

4・施策事業の提案

その両方の問題を解決する案として、里居ゼミでは「LRTの導入」を考えることにしました。LRTを導入することで中心市街地に新たな人の流れを作り、JR宇都宮駅の東口と西口を繋ぐことで、アクセス性の悪さを改善する案を考えました。そのため、中心市街地にもう一度人の流れをつくるため、最もまちづくりに対する効果が高いと考えられるルートや走行方式は何かについて研究してきました。